



ごあいさつ

同窓会長

竹内 四男次

平成二年十月念願の創立五十周年記念行事と平成四年七月には待望の会報が発行され同窓会も盛り上がりを見せ、母校との関連をより深め、ここに会報二号を発行、同窓生諸氏に発送することができました。これもひとえに同窓生諸氏のご協力はもちろん、学

長をはじめ各先生方の見えない力のお蔭と感謝しております。同窓生諸氏には、益々地域社会に貢献されお変わりなきことと存じます。昨今、日本の政治、いや世界の政治が変わりつつあるよ

うに、時代に沿った教育と施設が必要な時期が参りました。水産業界も大きく流れが変わりつつあるとき、母校においても、もちろんこの変化に対応させるべく着々とその準備を進め、日本一の水産高校を目指し、時代の変遷と地域社会の要請に応える魅力と特色のある学科を再構築し有為な技術者を育てるべく学科改編を要望し、第一歩を踏み出すよう努力している現状です。

すでに皆さん御承知かと存じますが、創立以来初の二名の女生徒が入学し、うさん臭い男性の雰囲気が変わろうとしております。本年度体験入学では、六十九名の女生徒の参加があり、また、来年度からは、今までの制服を一変してモダンでカジュアルな服装がお目見えすると思っております。

創立五十周年には大変ご迷惑をお掛けし、また、年会費徴収と心痛致しております。その努力が着実に遂行し平成六年度中には目的の基金に達しようとしており安堵しております。

前述の学科改編を実現のためには、同窓会としての絶大な協力はもちろん必要になることかと思ひ、今後同窓会の皆様にはますますご協力をお願いすることを書き加えると共に、同窓生諸氏のご健康をお祈り致します。



母校の

現状について

校長

石丸 昭和

同窓会の皆様には益々ご健祥の段お喜び申し上げます。さて、全国に水産高校が五十一校あります。その中で、標準的の五学科を擁する学校は、宮城、安房、焼津、三谷、長崎、沖縄の六水高。更に専攻科三学科を有するのは三谷水高のみ。文字通り本校は総合水産高校の頂点にあります。歴代の校長並びに同窓会他関係機関のご努力、ご支援が偲ばれます。

しかし安住は許されません。

現今の社会情勢の変化の中、水産教育をとりまく環境は厳しく、新たな変革が求められています。つくり育てる漁業の推進、水産物流通の国際化、海洋通信システムの国際化、マリンスポーツに伴う海洋の多面的活用など、目下これらを視野に入れた学科改編を含む将来計画を慎重に検討中であります。女子生徒の入学、制服改定の問題もあります。

いづれにいたしましても、県内唯一の水産高校の存在意義を主張しつつ、一層の充実、発展を期して、職員一同努力を重ねて行く所存です。

同窓会員のご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

会員の皆様の多数の出席をお待ちいたします。

当日は、母校において、水高祭が一般公開(十四時まで)されています。ぜひ、総会の前にお立ち寄りください。

同窓会総会案内

日時 平成五年十一月七日

(日)十五時

会場 蒲郡荘(港町)

〇五三三六八二二八八

会費 七、〇〇〇円